



令和4年9月1日

日本医療研究開発機構(AMED)「ワクチン開発のための世界トップレベル研究開発拠点の形成事業」のサポート機関として本学が採択されました

このたび、滋賀医科大学は、日本医療研究開発機構(AMED)「ワクチン開発のための世界トップレベル研究開発拠点の形成事業」にサポート機関として採択されました。

この事業では、令和3年6月1日に閣議決定された「ワクチン開発・生産体制強化戦略」に基づき、有事における国を挙げての迅速なワクチン開発の実現に向け、世界トップレベルの研究開発拠点(フラッグシップ拠点、シナジー拠点)を形成するとともに、研究開発を支援するサポート機関を設置し、将来起こりうるパンデミックに対して迅速な対応が可能となる研究開発及び体制構築を推進します。

本学はサポート機関として、世界トップレベルの研究開発拠点(フラッグシップ拠点、シナジー拠点)に対し、ワクチン開発に必要な重要機能などの共通的な基盤(インフラストラクチャー)の構築・提供を行うことにより、オールジャパンで備えるべき研究力・機能の整備・強化に貢献します。

● POINT ●

本学の役割

- ・本事業のサポート機関として、ワクチン開発のために拠点全体において必要とされる研究基盤(インフラストラクチャー)の構築・提供を行います。
- ・具体的には、海外動向等により今後ひっ迫が予想される医学研究用カニクイザルを計画的に繁殖させ、安定供給体制を構築することを目標とします。
- ・フラッグシップ拠点、シナジー拠点と協力してワクチン評価の感染実験を行います。
- ・本研究開発の目標達成により、日本全体におけるワクチン開発のサポートへの寄与および、感染症研究のさらなる推進への貢献が期待されます。



本学の特色を生かして、各研究機関と連携し、国産ワクチン開発に貢献できるよう努めて参ります。

研究開発代表者:伊藤 靖 教授

《プレスリリースに関するお問い合わせ》

滋賀医科大学 総務企画課 広報係

TEL: 077-548-2012 (担当: 岩品)

e-mail: hqkouhou@belle.shiga-med.ac.jp